

自ら学ぼうと思える環境が整っています。まずは自習をする環境です。朝は7時から放課後は19時まで教室や自習室が解放されています。そして通常日や長期休業中には各々の教科を様々な角度から学習する課外授業が豊富に設定されています。私は朝の始業までの時間を利用して自習をしていました。早い時期から毎日継続して自習をする習慣を身に付けられたことは受験準備のために非常に有効だったと思います。また課外授業は部活動とのスケジュールとバランスをとりながら気持ちのメリハリをつけて取り組むことができました。自習中や課外授業の時は多くの先生方が声をかけてくださったり、わからないことを教えてくれる友人がいたり、反対に自分が得意なことを友人に教えたりと多くの仲間と一緒に学ぶことで、自分一人で悩むことなく常にポジティブに学んで来られたと思います。

私はテニス部と生物部に所属していました。テニス部に入部したとき、高入生は私1人でしたが好きなテニスを通してあっという間にみんなと仲良くなりました。私は部活動以外にもテニスクラブにも通わせてもらい部活動での活動以外でもテニスに多くの時間を使いました。好きなことに打ち込む時間はとても充実していました。顧問の先生は大会の時に厳しい指導をいただくこともありましたが、楽しく一緒に練習をしてくださったり部活動を通して熱い信頼関係を築いて来られたと思います。顧問の先生は部活動を離れてもどんな場面でも親身になって私を導いてくださったことにとても感謝しています。生物部では基本的に中学生も一緒に活動をしてきました。生き物の世話や調査活動、合宿など多くのことを中学生と一緒に経験できたことは中高一貫校ならではの思い出です。私は教科の中で生物が一番好きなので部活動での調査は特に熱が入りました。生物部で調べたことや興味をもったことや経験が私の将来の目標をより明確にしてくれました。テニス部、生物部を通してできた友人がきっかけとなり入学して間もない頃から一貫生の友人もどんどん増えていきました。部活動と勉強の両立は大変そうに思えるかもしれませんが、部活動は同じ目標と一緒に取り組むことのできる仲間に出会うことができます。私のように運動部と文化部を兼部して活動しても学習と両立できるのも茨高の良さだと思います。

個別見学会で茨高生が授業を受けている様子を見学させてもらいすごく良い雰囲気だと感じ、是非ここで学びたいと茨高に進学することに決めました。高入生ということで少しの不安もありましたが、入学してみると文化祭やクラスマッチなど様々な行事を通して多くの仲間ができました。一貫生と高入生は高校2年次まで授業の進度が異なりますが、最終的には将来の進路に向けて全員がそれぞれの目標に向かってコースを選択することになります。そこでは一貫生、高入生関係なくそれぞれが意識高く、お互いを高めあえる仲間として受験に向かっていきます。先生方を含めて学校全体で意欲的に進んでいけるところも茨高の良いところです。

学習ばかりでなく部活動や様々な行事を通して数えきれないほど楽しい思い出ができました。そしてかけがえのない大切な友人達ができました。茨高での3年間は私の未来に繋がる素晴らしい時間でした。